

年度末の追い込みに注意！

ここで休憩タイム！ 

—実際の事故事例—

学生が研究発表中に失神し転倒、
病院へ搬送された。泊り込み作業
により睡眠不足の状態であった。

学生の実験は原則として教員等の指導のもとに行うべきものです。
やむを得ず夜間休日に実験を行う場合は、

- ・睡眠不足や疲労が蓄積した状態では実験を行わないこと
- ・一人での作業は避けること
- ・万が一、事故が発生した場合の緊急連絡体制を確認すること
- ・休憩をこまめにとること を徹底してください。